

第8回岩手・宮城内陸地震に係る山地災害対策検討会 議事要旨

- 1 開催日時：平成20年12月20日（土）13：00～16：15
- 2 開催場所：仙台市ホテル白萩2階錦の間（宮城県仙台市）
- 3 議事
 - （1）荒砥沢地すべりの調査結果と対策について
 - （2）市野々原地区地すべりの対策について
 - （3）岩手・宮城内陸地震による山地災害に係る治山計画のとりまとめについて
- 4 主な検討結果・報告及び委員の発言内容
 - （1）荒砥沢地すべりの調査結果と対策について
 - ・ ヒアヒクラ沢やシヅミクラ沢など、荒砥沢ダムに流入する沢でも、谷止工や流路工を計画しているが、もろい軽石凝灰岩などの地質特性に配慮した工事を実施すべき。
 - ・ 地すべり地内の、盛土工を行う箇所については、地すべり地全体への影響を及ぼさないように、慎重に進める必要がある。
 - ・ 降雪により中止している、観測について、融雪後早い時期から行うようにしてはどうか。
 - ・ ボーリング調査や地すべり移動機構の解析結果は、今後、荒砥沢地すべりが、地震時のようには滑動しないことを、説明する内容となっている。
 - ・ 今回の斜面の破壊について、災害として捉えるのは当然であるが、地形が発達する際の自然現象という側面もあり、自然がどのように復元していくか、景観的な価値なども考え、中長期的な対策の中に活かしてもらいたい。
 - （2）市野々原地区地すべりの対策について
 - ・ 今後、発生源対策として、各種工法が地すべり地内で施行されると思うが、隣接箇所で行われる事業とも調整して、齟齬のないように対策を進めてもらいたい。
 - （3）岩手・宮城内陸地震による山地災害に係る治山計画のとりまとめについて
 - ・ 治山計画の実施により、不安定土砂量がどの程度減少するか、荒廃率の改善の見通しなどを示すことができないか。
 - ・ 地元住民への安全・安心の提供が最も重要であり、まず、適期適所の工法で、安全対策に留意しながら対策を進めてもらいたい。

- ・ 多種多様な土砂移動現象が発生するなど、今までに経験がないことが多いため、今後の同種の対策を考える上で、モニタリングの継続と、地震により損傷した地盤の復旧といった観点が必要である。
- ・ 多種多様な対策工が行われることから、技術者教育の面でも重要な事例となるものである。

(軽微な文言の修正等については、座長に一任の上、最終とりまとめとすることについて、各委員より了承された)

以上